

2021年11月16日

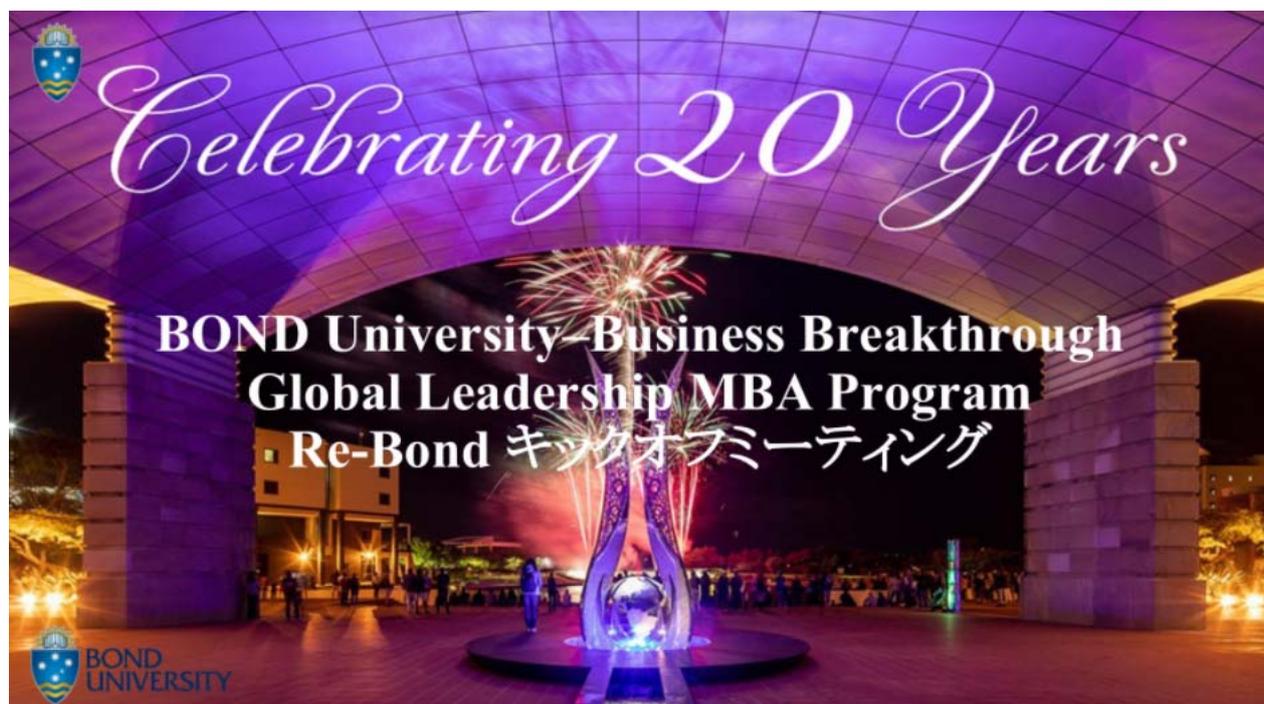
株式会社ビジネス・ブレイクスルー

【海外 MBA】BOND-BBT MBA 20 周年オンライン記念イベント開催 BOND 大学名誉教授 大前研一「定年は自分で定義せよ」

スマホ・タブレットの普及以前から、オンラインで海外 MBA の取得を実現した歴史あるプログラム

あらゆる年齢層に対し生涯に渡るリカレント教育を提供する株式会社ビジネス・ブレイクスルー(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:柴田巖、以下 BBT)とオーストラリアで初めて設立された私立大学である名門の BOND 大学が運営する BOND 大学ビジネススクール(所在地:オーストラリア クイーンズランド州)がオンラインにて共同運営する「BOND-BBT グローバルリーダーシップ MBA プログラム(監修:大前研一、以下 Bond-BBT MBA)」は、2021年11月6日(土)にオンラインとリアルを融合した BOND-BBT MBA 20 周年オンライン記念イベント「Re-Bond キックオフミーティング」を開催しました。

当日は、リアル・オンライン合わせて約 120 名の学生・関係者・豪 BOND 大学の教授陣などが、日本だけでなく海外からも出席しました。



BOND-BBT MBA は、オーストラリアの名門校 BOND 大学が運営する BOND 大学ビジネススクールが BBT と提携し、2001 年に日本で初めてオンラインで海外 MBA の学位を取得することができるプログラムとしてスタートしました。仕事を辞めて渡豪することなく、仕事を続けながら海外 MBA を取得することができるプログラムの世界的な先駆者として、20 年に渡り MBA プログラムを多くのビジネスパーソンに提供しています。また、BOND 大学ビジネススクールは、米国のビジネススクール国際認証機関「AACSB」による認証と、欧州のマネジメント教育品質評価機関「EQUIS」による認証の両方を取得しており、グローバル標準のプログラムであることが認められています。

20周年記念式典直前に行われた修了式では 46 名が BOND-BBT MBA を修了し、2021 年 11 月時点で、修了生は 1,300 名を超えました。

式典が始まると、BOND-BBT MBA を運営する(株)ビジネス・ブレイクスルーの柴田巖 代表取締役社長が登場し、「BBT にはグローバル人材育成のプログラムが多数ありますが、その中でも BOND-BBT MBA は最初に関講したグローバルコースになります。20年間このプログラムが続いたことに、私たちも誇りを持っています。引き続き、皆で BOND-BBT MBA を発展させていきましょう」と祝辞を述べました。

続いて登壇した BOND 大学名誉教授を務める大前研一教授は、「皆さんには、”定年”は自分で定義するようになってもらいたいと考えています。人間は死ぬ時が終わりであり、定年が終わりではありません。世の中は常にアップデートしているので、MBA 取得後も最後まで勉強して皆さんの新しい考えを世の中に伝えてほしいと思っています。コロナ禍であっても、BOND-BBT MBA プログラムはオンラインで学びを継続することが出来ました。これは皆さんにとって非常にラッキーなことです。」と語り掛けました。

修了生から大前研一教授へ、シンギュラリティ時代の働き方についての質問が寄せられました。大前教授は、「皆さんは知識だけを持って勝負する人ではなく、BOND-BBT MBA で「0から1を作る」「見えないものを見えるようにする」構想力を身に付けたはずです。そういう人たちは、シンギュラリティ時代が来てもコンピューターと違うことが出来ます。これからも、構想力や皆で考える“集合知”を発展させるなど、コンピューターが苦手とする能力を磨き続けていくことが重要です。」と答えました。



(スピーチを行うBOND 大学大前研一名誉教授)

現地オーストラリアBOND 大学学長 ティム・ブレイルズフォード教授らからはビデオメッセージが寄せられました。ブレイルズフォード教授は、「20周年おめでとうございます。私たちは、BOND-BBT MBA プログラムとその修了生たちに大変誇りを持っています。日本とオーストラリアの国同士もとても良い関係性ですが、私たちのパートナーシップも良い見本となる関係性だと思います。長い間築き上げてきた BOND 大学と BBT の絆が、今後も続いていくことを嬉しく思います。20年後の40周年記念を楽しみにしています。」と祝辞を述べました。



(ビデオメッセージで祝辞を述べるBOND 大学学長 ティム・ブレイルズフォード教授)

続いて、BOND 大学の名誉兼任教授を務める門永宗之助教授が登壇しスピーチを行いました。

「私も海外の大学で修士号を取得した経験があり、それがキャリアに大きな変化をもたらしました。

大前名誉教授が日本支社長を務めていたマッキンゼーの門を叩いた時、コンサルティングは全く初めての仕事でした。しかしながら、苦勞して海外の大学を修了したという自信が私の背中を大きく押してくれました。皆さんは社会人として働きながら BOND-BBT MBA を修了しました。働き盛りの方が多いので、とても大変なことであったと思いますが、それは、大きな自信につながっているはずで、困難を乗り越えて手に入れたものはそう簡単には壊れません。

もし今後の人生で、その自信を忘れかけたときは、是非 BOND-BBT MBA での経験を思い出してください。また、修了後も身に付けた知識・スキル・ネットワークは、常に更新し続けていくことも大切です。皆さんの、更なる成功をお祈りしています。」



(リアル・オンラインで参加しスピーチを聞く修了生。右が門永教授)

また、豪州日本大使館の参事官 Janine Pitt 氏と、クイーンズランド州政府駐日事務所 Tak Adachi 氏による祝辞も披露されました。

関係者らによる祝辞の後には、BOND 修了生による「20 周年記念アンケート結果」も公開されました。

仕事・プライベートに対する BOND-BBT MBA の貢献度は 7 割が高評価。



仕事・プライベートに対する BOND-BBT MBA の貢献度に関するアンケートによると、7ポイント以上の評価を行った修了生は仕事への貢献度で76%、プライベートへの貢献度で72%となりました。

仕事への貢献度においては、実務、転職、人脈上で役立ったと高いと回答した修了生が目立ちました。プライベートへの貢献度においては、学ぶ習慣が身についたこと・仲間からの刺激・ネットワークをキーワードとする回答が多く寄せられました。

また、20周年記念式典の終盤には修了生による『人生 100 年時代をより豊かにする、卒業後の 5 年、10 年、20 年、その先を楽しむためのサバイバル術』についてのスピーチが行われました。

2016年に BOND-BBT MBA を修了した新野 佳世氏は、以下のように語りました。

「BOND-BBT MBA を修了した後、急遽家族が経営する会社の社長代行を任された際に、その役目ができる自分になっていたことに驚きました。

在学中、仕事と勉強の両立は正直とても大変でしたが、良い仲間にも巡り合うことが出来、勉強だけでなく仕事でも助けられた場面が多々ありました。自分の直感を信じて入学を決意した頃の自分をほめたい気持ちです。

また、「45歳定年説」が話題になったこともありましたが、全くうろたえず受け止められた自分にも気が付きました。私は、これからの安全な道は2つしかないと思います。一つは、守られた場所に行くこと、もう一つはどこに行っても通用する人材になること。BOND-BBT MBA で学んだことで私たちは後者の道も選ぶことが出来るようになりました。

新しい時代が来ても、どんなに社会が変わっても、将来が見えなくても、私たち BOND-BBT MBA 修了生は、自分の頭で考えることが出来て、対話のできる仲間がいます。ですので、未来を恐れることはないと思っています。」

20周年を迎えた BOND-BBT MBA は、今後も現地オーストラリアの BOND 大学と協力しながら、世界にブレークスルーを引き起こし、グローバルに活躍できる人材の輩出に貢献し続けます。

【BOND-BBT グローバルリーダーシップ MBA プログラム(BOND-BBT MBA)について】



オーストラリアの名門 BOND 大学ビジネススクールと、幅広いマネジメント教育事業を展開する BBT が提携する事で実現した海外正式 MBA プログラムとして、2001 年に開講。国際認証 AACSB と EQUIS を取得。「世界で活躍できるビジネスリーダーの育成」を掲げ、総計 1300 名超の修了生を輩出。アカデミア中心の BOND 大学講師陣と実務家揃いの BBT 講師陣の両者から学ぶことで、理論と実践がブリッジされ実務で使えるマネジメントスキルを身に付けることができる。受講スタイルはオンラインとオフライン(スタディツアー)を組み合わせることで効果的な学びを実現。リアル(スタディツアー)では、現地オーストラリアの学生と共に英語環境の中で実践的なディスカッションに取り組むことでビジネス英語力に加え、思考と議論の瞬発力を強化する。

<https://www.bbt757.com/bond/>

【BBTについて】



グローバル環境で活躍できる人材の育成を目的として 1998 年に世界的経営コンサルタント大前研一により設立された教育会社。設立当初から革新的な遠隔教育システムによる双方向性を確保した質の高い教育の提供を目指し、多様な配信メディアを通じてマネジメント教育プログラムを提供。大学、大学院、起業家養成プログラム、ビジネス英語や経営者のための勉強会等多様な教育プログラムを運営するほか、法人研修の提供やTV番組の制作などあらゆる年齢層に対し生涯に渡る「リカレント教育」を提供する。在籍会員数約 1 万人、輩出人数はのべ約 5 万人以上。また、1,300 社以上の企業に対して研修を提供。2013 年 10 月のアオバジャパン・インターナショナルスクールへの経営参加を契機に、生涯の学習をサポートするプラットフォーム構築をグループ戦略の柱の1つとして明確に位置づけている。

<https://www.bbt757.com/>

▼お問い合わせ

株式会社ビジネス・ブレークスルー 広報担当:吉田

メールアドレス:bbt-pr@bbt757.com

BBTのプレスリリース : <https://www.bbt757.com/news release/>